

## 年末手当要求3.0ヶ月の根拠は！ 貨物会社に働く社員の生活実態に基づく要求である！



2018年度決算は西日本豪雨の影響による不通区間が発生し、2016・2017年度のJR発足以来の最高益の確保から一転したものの、大規模災害の影響下でさえ単体経常利益30億円・連結で45億円の利益を確保した。続く2019年度決算は、会社発足以来4番目の経常利益71億円を確保する結果となるなど、会社の体力がついてきている事は明らかである。この背景には、当然、コロナ渦にあって危険と隣り合わせの中にあっても、指定公共機関として、誰一人感染せず、安全・安定輸送を目指し、奮闘している「社員」の努力に他ならず、それに加えて社員を支える家族の努力がある。

貨物会社の上半期の輸送動向は、「令和2年7月豪雨」「台風10号」の影響で工コ関連物資を除き前年を下回り、前年比ではコンテナ全体で86.2%、車扱いが85.9%と全体で86.1%となっている。

一方で、社員がこれだけ奮闘しているにも関わらず、会社が行ったこれまでの還元はベアだけ見ても一昨年300円、昨年は200円と生活改善には程遠い。「期末手当」も2013年度夏は1.1ヵ月まで減少させ、「削る時には大胆に削減」し、「積み上げる時は微々たるものしか上げない」と、社員と家族の生活に責任を負わない姿勢に社員は呆れるばかりだ。

私たちが求める期末手当3.0ヵ月の要求は、生活改善に必要な最低限度の金額であり、要求満額獲得に向け、他労組組合員をも奮起させる取り組みを全職場から展開しよう！

## 期末手当は「生活費」に他ならない！ 交渉で主張！ 期末手当+預貯金⇒赤字の補填

賃金・生活実態アンケートで  
明らかな生活実態

生活の満足度=やや不満+不満 ⇒ 58.2%



これ以上の社員犠牲をやめ、  
社員への投資も行うべきだ！

(2019国労賃金・生活実態アンケートより)

毎月赤字有り	62.7%
毎月平均赤字額	40,400円
借金の理由	1位 住宅資金
	2位 生活費
	3位 耐久消費財

赤字補てん	
期末手当から	46.9%
預貯金から	45.3%

### 全職場から満額獲得に向け、分会活動活性化を！